

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2000-347236 (P2000-347236A)

【公開日】平成 12 年 12 月 15 日 (2000.12.15)

【出願番号】特願 平 11-156550

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/238 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 L

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/238 Z

H 0 4 N 5/335 Q

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 21 日 (2006.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影レンズにより得られる被写体像より電気信号を得るための撮像手段と、
上記電気信号を処理して、記録媒体に記録するための画像データを取得するための画像処理
手段と、

当該電子スチルカメラのぶれ量を検出するためのぶれ検出手段と、

リリース操作手段と、

上記リリース操作手段の操作に応答して、上記撮像手段を繰り返して動作させ、各々の
撮像動作における上記ぶれ量を評価し、このぶれ量が所定のレベルより小さい場合には、
上記撮像手段から電気信号を読み出し、上記画像処理手段から得られた画像データを上記
記録媒体に記録する制御手段と、

を有することを特徴とする電子スチルカメラ。

【請求項 2】

上記制御手段は、上記各々の撮像動作におけるぶれ量を評価する際に、上記各々の撮像
動作の露光期間の中間時点でのぶれ量を評価する
ことを特徴とする請求項 1 記載の電子カメラ。

【請求項 3】

上記制御手段は、上記各々の撮像動作におけるぶれ量を評価する際に、上記各々の撮像
動作の露光期間の中の複数の時点でのぶれ量により評価を行う
ことを特徴とする請求項 1 記載の電子スチルカメラ。

【請求項 4】

撮影レンズにより得られる被写体像より電気信号を得るための撮像手段と、

上記電気信号を処理して、記録媒体に記録するための画像データを取得するための画像処理
手段と、

当該電子スチルカメラのぶれ量を検出するためのぶれ検出手段と、

リリース操作手段と、

上記リリース操作手段の操作に応答して、上記撮像手段を繰り返して動作させ、各々の撮像動作における上記ぶれ量を評価し、このぶれ量が所定のレベルより大きい場合には、次の撮像動作を指示し、このぶれ量が上記所定のレベルより小さい場合には、次の撮像動作に対する指示をせずに、上記撮像手段から電気信号を読み出し、上記画像処理手段から得られた画像データを上記記録媒体に記録する制御手段と、
を有することを特徴とする電子スチルカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は電子スチルカメラに関し、特に、カメラのぶれを検出し、ぶれが小さくなるタイミングで撮影を行うようにしたぶれ防止電子スチルカメラに関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明の第1の態様は、電子スチルカメラであって、撮影レンズにより得られる被写体像より電気信号を得るための撮像手段と、上記電気信号を処理して、記録媒体に記録するための画像データを得るための画像処理手段と、当該電子スチルカメラのぶれ量を検出するためのぶれ検出手段と、リリース操作手段と、上記リリース操作手段の操作に応答して、上記撮像手段を繰り返して動作させ、各々の撮像動作における上記ぶれ量を評価し、このぶれ量が所定のレベルより小さい場合には、上記撮像手段から電気信号を読み出し、上記画像処理手段から得られた画像データを上記記録媒体に記録する制御手段と、を有する。

また、本発明の第2の態様は、第1の態様において、上記制御手段は、上記各々の撮像動作におけるぶれ量を評価する際に、上記各々の撮像動作の露光期間の中間時点でのぶれ量を評価する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明の第3の態様は、第1の態様において、上記制御手段は、上記各々の撮像動作におけるぶれ量を評価する際に、上記各々の撮像動作の露光期間の中の複数の時点でのぶれ量により評価を行う。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明の第4の態様は、電子スチルカメラであって、撮影レンズにより得られる

被写体像より電気信号を得るための撮像手段と、上記電気信号を処理して、記録媒体に記録するための画像データを得るための画像処理手段と、当該電子スチルカメラのぶれ量を検出するためのぶれ検出手段と、リリース操作手段と、上記リリース操作手段の操作に応答して、上記撮像手段を繰り返して動作させ、各々の撮像動作における上記ぶれ量を評価し、このぶれ量が所定のレベルより大きい場合には、次の撮像動作を指示し、このぶれ量が上記所定のレベルより小さい場合には、次の撮像動作に対する指示をせずに、上記撮像手段から電気信号を読み出し、上記画像処理手段から得られた画像データを上記記録媒体に記録する制御手段と、を有する。